

根釧の経済概況（令和5年9月末基準）：根室管内

水産：管内の水揚数量合計は前年同期比5.4%増加、金額は同7.5%増加。

①根室管内総水揚高（各年1～9月）

根室市		根室管内3町		根室管内合計				
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R5	33,311	12,009	42,852	12,300	76,163	+5.4%	24,309	+7.5%
R4	29,962	10,443	42,280	12,167	72,242	▲17.6%	22,610	▲5.6%
R3	34,748	11,257	52,890	12,691	87,728	+16.9%	23,948	+28.5%
R2	31,957	9,488	43,089	9,141	75,046	▲19.0%	18,629	▲27.5%
R1	42,039	12,166	50,556	13,528	92,595	▲7.2%	25,694	▲6.9%

②秋サケ漁(根室管内・各年9月末)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R5	1,494	▲17.2%	1,027	687
R4	1,808	▲21.0%	1,753	969
R3	2,291	▲9.6%	2,025	884

③サンマ漁(根室・各年9月末)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R5	8,364	+34.6%	4,215	504
R4	6,210	▲7.4%	3,558	573
R3	6,707	+5.8%	4,106	612

・R5年9月末時点での数量は1,494tで前年同期比17.2%減少。
 ・目廻りは2.91kg（前年2.63kg）で、9月末時点では前年より個体が大きい傾向にあった。金額は単価の著しい下落により10億27百万円と昨年同期比41.6%減少。海水温変化による漁獲量への影響や、需給バランス変化に伴う価格下落が発生。

・根室のサンマ水揚数量は8,364tと、過去最低基準の前年を上回って推移。単価は下落したものの金額は前年同期比18.4%増加。

酪農：根室、釧路管内ともに4～9月生乳生産量は、前年実績を下回る。

根釧管内生乳生産量（各年4～9月）

年度別	数量(t)	前年比
R5	677,352	▲4.8%
R4	711,778	▲0.2%
R3	713,526	+2.9%
R2	693,347	+1.9%

地区別	数量(t)	前年比
全道	1,978,500	▲5.2%
十勝	636,542	▲5.7%
北網	293,756	▲5.8%
根室	416,817	▲4.8%
釧路	260,535	▲4.8%

生乳生産量（4～9月）※生乳生産量はホクレン調べ

・根釧管内生乳生産量の上半期（4～9月）実績は677千tと前年同期比4.8%減少。
 ・根室管内の上期月別伸び率は、全ての月で前年を下回る。地区別では、いずれも前年同期比5%前後と減少幅が大きく、全道では同5.2%の減少。

今後の需給動向等

・道内の生乳需給は、記録的猛暑の影響により需要が比較的堅調に推移したことと、暑熱ダメージから生産量が減少傾向にあったこともあり、一時は逼迫。ただ、不需要期に突入すれば、製品価格改定の影響が顕著化し、需要の急落が懸念される。
 ・JAグループ北海道は24年度生乳生産目標数量を23年度比101%の403万tに設定。コロナ禍で続いた生産抑制、減産計画生産から脱却し、道内の生乳生産基盤の回復を狙う動きが見られるが、生産コストの高騰や個体販売価格の低迷など、酪農家を取り巻く経営環境は依然先行不透明。国を挙げた支援施策が急務である。

○R5年根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

4月▲5.1%	5月▲4.1%	6月▲2.7%
7月▲4.5%	8月▲7.2%	9月▲5.1%

家畜取引：根室市場は取引頭数で前年同期比2.2%増加、金額は同2.6%減少。

□根室市場取引高（各年4～9月）

	取扱頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R5	23,265	+2.2%	4,395	▲2.6%	188
R4	22,748	+1.4%	4,514	▲20.9%	198
R3	22,420	+2.7%	5,625	+5.5%	250

□別海市場取引高（各年4～9月）

	取扱頭数(頭)	金額(百万円)
R5	3,801	415
R4	4,458	620
R3	4,864	900

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
初生ホルスタイン牝 (単位：千円)	29.6	35.2	45.4	32.7	19.6	16.0
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	167.9	188.8	206.5	201.3	173.2	152.2

貿易：輸出は前年同期比減少、輸入は同増加。

(R5年1～9月貿易実績・根室税関支所発表・()内前年同期比)

【総額】54億79百万円（+21.7%） 外国貿易船の入港隻数263隻(前年比+31隻)
 【輸出】45百万円（▲51.1%） 冷凍魚介類 全減、ひも・網・ケーブル 全減、一般機械18百万円(+34.8%) その他14百万円（▲74.3%）
 【輸入】54億33百万円（+23.3%） 生鮮魚介類 51億45百万円（+18.3%） 冷凍魚介類 2億88百万円（4.9倍）

・輸出…冷凍魚介類、ひも・網・ケーブルが減少し、全体として減少。
 ・輸入…生鮮魚介類、冷凍魚介類が増加し、全体として増加。

根釧の経済概況（令和5年9月末基準）：釧路管内

水産：釧路港はイワシが好調で、数量が前年同期比17.2%増加。また単価上昇に伴い金額は同50.4%増加。

①釧路港総水揚高（各年1～9月）

	全体			
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R5	123,771	+5.8%	7,785	+18.2%
R4	116,894	▲12.4%	6,585	+20.1%
R3	133,539	+2.8%	5,480	+7.7%
R2	129,899	+40.1%	5,085	+6.5%
R1	92,686	+22.2%	4,773	▲2.2%

	(うち、スケソ)				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	9,014	▲53.9%	576	▲44.7%	64
	19,574	▲25.3%	1,043	▲6.1%	53
	26,213	+0.1%	1,111	▲0.9%	42
	26,170	+25.2%	1,122	▲10.3%	43
	20,899	▲1.6%	1,252	+0.5%	60

②釧路港魚種・漁港別水揚高(R5年1～9月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
サンマ	19	-	1	5.9倍
サケ・マス	36	▲52.6%	29	▲33.4%
スケソ	9,014	▲53.9%	576	▲44.7%
マダラ	3,402	+0.1%	678	▲18.3%
ホッケ	6	▲71.4%	1	▲73.4%
イカ	56	▲81.4%	24	▲89.6%
カレイ類	741	2.3倍	108	+58.8%
イワシ	107,574	+17.2%	5,845	+50.4%
サバ	-	-	-	-

③厚岸港水揚高(各年1～9月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R5	6,734	+61.8%	2,578	+14.4%
R4	4,159	▲32.9%	2,253	+10.1%

④厚岸港魚種別水揚高(R5年1～9月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
サンマ	499	+98.3%	232	+94.8%
秋サケ	0	全減	0	全減
あさり	920	▲12.7%	695	▲9.2%
かき	454	+14.5%	605	+41.3%
その他	4,283	+115.2%	776	+12.6%

【釧路港水揚】

- ・1～9月の合計は、数量が前年同期比5.8%増加、金額は同18.2%増加。魚種別で見ると、サケ・マス、スケソ、ホッケ、イカ、サバが減少しており、スケソは数量で前年同期比53.9%、金額で44.7%減少。
- ・イワシは数量が前年同期比17.2%増加、金額は単価上昇に伴い50.4%増加。ペルー産カタクチイワシ禁漁による飼料価格上昇を受け、ミール向け価格が高騰していることが要因と考えられる。

【厚岸港水揚】

- ・1～9月の合計は、数量6,734tで前年同期比61.8%の増加、金額は27億84百万円で同23.6%の増加。魚種別で見ると、サンマの数量が499t、金額が2億32百万円と前年同期比大幅増加。
- ・あさはりは数量・金額ともに前年同期比減少。
- ・かきは数量が前年同期比14.5%増加、金額は単価上昇により同41.3%増加。

製紙：市内製紙工場のR5年度上半期（4～9月）生産量は、前年同期比8.2%の減少。

観光：R5年4～9月スポット別の観光客入込数

※peachは集計対象外

- ・釧路市のR5年度上期（R5年4～9月）の観光入込客数は、2,329千人で前年比16.1%増加。
- ・航空（道外）147千人（前年比+36.6%） 阿寒湖遊覧船 63千人（同+52.8%） 丹頂鶴自然公園（有料） 35千人（同+91.8%） 湿原展望台 53千人（同+16.0%） MOO 314千人（+11.4%）

貿易：輸出・輸入ともに前年同期比増加。

(R5年1～9月貿易実績・釧路税関支所発表・()内前年同期比)

- 【総額】 1,239億03百万円（+1.4%） 釧路港外国貿易船入港数254隻（前年比+11隻）
- 【輸出】 85億09百万円（▲8.9%） 魚介類・同調整品15億21百万円（▲27.3%）、鉄鋼くず28億30百万円（▲28.7%） 動物性油脂24億54百万円（2.2倍）、紙類・同調整品9億68百万円（▲22.2%）
- 【輸入】 1,153億94百万円（+2.3%） 肉類・同調整品 13億25百万円（+26.3%） とうもろこし 301億88百万円（▲1.5%） 飼料171億79百万円（▲8.9%） 石炭182億13百万円（+27.7%） 肥料 207億94百万円（▲9.2%）

全国・全道の経済概況（令和5年9月末基準）

住宅着工戸数

全国

■ R5年4～9月着工戸数は415千戸で前年同期比6.2%減少。
内訳：持家・貸家・給与・分譲の全てにおいて前年同期比減少。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R5年 9月	68,941	▲6.8%
R5年 8月	70,389	▲9.4%
R5年 7月	68,151	▲6.6%
R5年 6月	71,015	▲4.8%
R5年 5月	69,561	+3.4%
R5年 4月	67,250	▲11.8%
R5年4～9月計		
	415,307	▲6.2%
内訳		
	持家	▲10.2%
	貸家	▲0.3%
	給与	▲11.7%
	分譲	▲10.0%

■ R5年度上期は10兆3,577億円で前年同期比0.6%増加。月別では5・7・8月で前年同期比増加するも4・6・9月で同減少、総体では同増加。

月別		
	工事請負契約額(億円)	前年比
R5年 9月	22,479	▲7.4%
R5年 8月	17,476	+1.8%
R5年 7月	18,527	+10.5%
R5年 6月	20,139	▲0.7%
R5年 5月	13,132	+20.6%
R5年 4月	11,822	▲12.8%
年半年期毎推移		
	工事請負契約額(億円)	前年比
R5年 4～9月	103,577	+0.6%
R4年 4～9月	102,953	▲1.3%
R3年 4～9月	104,367	▲1.7%

公共工事請負高

全道

■ R5年4～9月合計は16千戸で前年同期比5.6%減少。
内訳：貸家・給与が前年同期比増加、持家・分譲が同減少。

月別		
	着工戸数(戸)	前年比
R5年 9月	2,290	▲8.3%
R5年 8月	2,667	▲16.1%
R5年 7月	2,724	▲12.2%
R5年 6月	3,567	+10.6%
R5年 5月	2,424	▲4.5%
R5年 4月	3,099	▲4.1%
R5年4～9月計		
	16,771	▲5.6%
内訳		
	持家	▲10.8%
	貸家	+4.6%
	給与	+66.1%
	分譲	▲31.7%

■ R5年度上期は8.323億円で前年同期比14.7%増加。発注機関別においては、国を除き、全てにおいて前年同期比増加。

年別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年 4～9月	832,311	+14.7%
R4年 4～9月	725,256	▲6.0%
R3年 4～9月	772,273	▲3.7%

発注機関別（R5年4～9月）		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
国	184,729	▲7.9%
道内市町村	265,486	+24.4%
道	163,395	+5.3%
独立行政法人等	143,165	+61.8%
地方公社	1,045	+33.8%

企業倒産動向

■ R5年上期の倒産件数は4,208件で前年同期比34.7%増加。負債額は1兆5,868億3,600万円で同10.1%減少。

月別推移 (金額単位：億円)				
各年4～9月	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R5年	4,208	+34.7%	15,868	▲10.1%
R4年	3,123	+6.2%	17,657	3.0倍
R3年	2,938	▲25.7%	5,784	▲3.7%
R2年	3,956	▲5.1%	6,012	+6.4%
R1年	4,172	+4.0%	5,646	▲27.1%

■ R5年上期の倒産件数は118件で前年同期比22.9%増加。負債額は197億円で同24.7%増加。

月別推移 (金額単位：億円)				
各年4～9月	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R5年	118	+22.9%	197	+24.7%
R4年	96	+47.6%	157	+66.4%
R3年	65	▲31.5%	94	▲3.7%
R2年	95	▲12.0%	98	▲33.3%
R1年	108	+1.9%	147	+48.5%

訪日外国人延宿泊客数

■ R4年の外国人延宿泊客数は13,607千人、前年同期比3.1倍。新型コロナ対策に伴う入国制限の緩和により、月別でもすべての月において大幅増加。国籍別では、第1位の韓国に続き、台湾、アメリカ、香港と続く。

○R4年度 下期月別推移				○R4年度下期 国籍別			
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア		
3月	6,222	22.7倍	韓国	4,833	19%		
2月	4,848	29.3倍	台湾	3,240	13%		
R5年1月	5,078	30.1倍	アメリカ	2,858	11%		
12月	4,861	21.0倍	香港	2,239	9%		
11月	3,104	12.1倍	中国	1,563	6%		
10月	1,760	7.2倍	タイ	1,305	5%		
下期計	25,876	19.3倍	シンガポール	1,229	5%		
○年別推移(1～12月)							
R4年	13,607	3.1倍	その他	8,609	33%		
R3年	4,317	▲78.8%	下期合計	25,876	100%		

■ R4年外国人延宿泊客数は741千人、前年同期比11.2倍。新型コロナ対策に伴う入国制限の緩和により、アジア圏を中心に大幅増加。国籍別では、第1位の韓国に続き、台湾、香港、タイと続く。

○R4年度 下期月別推移				○R4年度下期 国籍別			
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア		
3月	395	106.2倍	韓国	497	22%		
2月	568	138.3倍	台湾	414	19%		
R5年1月	589	147.0倍	香港	244	11%		
12月	526	109.7倍	タイ	179	8%		
11月	99	66.2倍	シンガポール	144	6%		
10月	41	19.3倍	中国	112	5%		
下期計	2,220	109.5倍	オーストラリア	106	5%		
○年別推移(1～12月)							
R4年	741	11.2倍	その他	524	24%		
R3年	66	▲96.8%	下期合計	2,220	100%		

根釧の経済概況（令和5年9月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根室

■R5年上期合計は42戸で前年同期比9戸増加。
内訳：持家が前年同期比減少、貸家・給与・分譲が同増加。

□根室市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R5年	9月	5	±0	前年並
R5年	8月	2	+2	全増
R5年	7月	9	+4	+80.0%
R5年	6月	17	+11	+183.3%
R5年	5月	3	▲2	▲40.0%
R5年	4月	6	▲6	▲50.0%

		年別・利用別					前年比
		持家	貸家	給与	分譲	合計	
R5年	4~9月	23	15	2	2	42	+27.2%
R4年	4~9月	29	4	0	0	33	▲38.8%
R3年	4~9月	37	10	7	0	54	+45.9%

■R5年上期合計は請負額222億円で前年同期比16.3%の増加。工事種類別でみると、主要工事の一般土木は前年同期比15.6%増加。建築・管は同増加、舗装・電気は同減少。

		年別	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年	4~9月	22,265	+16.3%
R4年	4~9月	19,132	+1.4%
R3年	4~9月	18,855	▲10.3%
R2年	4~9月	21,034	前年並

工事種類別 (R5年4~9月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	13,635	+15.6%
舗装	817	▲6.7%
建築	4,311	+29.5%
電気	968	▲14.6%
管	504	+62.5%

■R5年上期の根室管内は倒産件数3件、負債金額は490百万円で、件数、金額ともに増加。

		年別			
		【根室管内】		【うち、根室市】	
各年(4~9月)		件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R5年		3	490	1	350
R4年		0	0	0	0
R3年		0	0	0	0
R2年		2	33	0	0
R1年		1	98	0	0

■R4年下期の外国人延宿泊客数は4,555人で前年同期比27.1倍。国籍別にみると、台湾がシェア25%と最も多く、次いで中国、イギリスと続く。

○R4年度下期月別推移			○R4年度下期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
3月	637	106.1倍	台湾	1,155	25%
2月	2,711	117.8倍	中国	583	13%
R5年1月	598	23.9倍	イギリス	476	10%
12月	248	9.9倍	アメリカ	408	9%
11月	187	7.7倍	香港	325	7%
10月	174	2.6倍			
下期計	4,555	27.1倍			
○年度別推移					
R4年度	5,050	12.5倍	その他	1,608	35%
R3年度	401	▲37.4%	下期合計	4,555	100%

釧路

■R5年上期合計は295戸で前年同期比1戸増加。
内訳：持家・分譲が前年同期比減少、貸家・給与が同増加。

□釧路市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R5年	9月	29	▲13	▲30.9%
R5年	8月	42	▲3	▲6.6%
R5年	7月	70	+16	+29.6%
R4年	6月	58	+13	+28.8%
R4年	5月	67	+19	+39.5%
R4年	4月	29	▲31	▲51.6%

		年別・利用別					前年比
		持家	貸家	給与	分譲	合計	
R5年	4~9月	121	152	1	21	295	+0.3%
R4年	4~9月	165	99	0	30	294	▲22.0%
R3年	4~9月	214	137	2	24	377	▲3.3%

■R5年上期合計は請負額377億円で前年同期比9.7%の増加。工事種類別では、一般土木が3.0%減少。舗装・建築・電気・管は同増加。

		年別	
		前払保証請負額(百万円)	前年比
R5年	4~9月	37,753	+9.7%
R4年	4~9月	34,389	▲3.4%
R3年	4~9月	35,607	▲14.5%
R2年	4~9月	41,686	+13.7%

工事種類別 (R5年4~9月)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	17,934	▲3.0%
舗装	2,118	+27.6%
建築	8,958	+61.2%
電気	3,226	+64.4%
管	1,591	+73.5%

■R5年上期の釧路管内は倒産件数8件、負債金額は285百万円で、件数は増加したものの金額は減少。

		年別			
		【釧路管内】		【うち、釧路市】	
各年(4~9月)		件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R5年		8	285	7	201
R4年		7	2,493	6	1,893
R3年		5	443	5	443
R2年		8	753	4	284
R1年		4	231	2	99

■R4年下期の外国人宿泊客数は44,694人で前年比43.6倍。国籍別にみると、台湾がシェア54%と最も多く、次いで香港、シンガポールと続く。

○R4年度下期月別推移			○R4年度下期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
3月	10,504	70倍	台湾	24,277	54%
2月	15,622	100.7倍	香港	4,442	10%
R5年1月	9,132	99.2倍	シンガポール	3,003	7%
12月	5,531	37.1倍	アメリカ	2,018	4%
11月	1,831	8.8倍	韓国	1,654	4%
10月	2,074	7.6倍			
下期計	44,694	43.6倍			
○年度別推移					
R4年度	46,709	22.6倍	その他	9,300	21%
R3年度	2,061	+28.8%	下期合計	44,694	100%